

最先端 CT 研究会 2019 参加報告

華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口隆義

皆様こんにちは、華岡青洲記念心臓血管クリニックの山口です。突然ですが、皆様は SAMI という会をご存知でしょうか？ SAMI は Society of Advanced Medical Imaging の略で、過去に行われていた「Advanced CT・MR 研究会」の発展形として始まった研究会です。今年で4回目の開催となりましたが、私のレポートは、SAMI の前日に開催される事になった「最先端 CT 研究会」についてです。代表幹事は、慶応義塾大学の陣崎先生です。「最先端」と聞いて、皆さんはどのような事を想像されるでしょうか？やはり DECT や 4DCT、超高精細 CT などと考えます。とにかく、斬新なネーミングがついておりますので、どのような事が発表され議論されるのか、期待大で参加して参りました。

最初のスポンサーセッションで、我らがキヤノンメディカルの津島さんが登場し、「Deep Learning based Spectral Imaging System のご紹介」というタイトルで講演が始まりました。良い！イイよ！津島さん！やっとキヤノンも dual energy CT に本腰が入ったところか、deep learning をフル活用した画像に加えて AEC も使えるなんて、一歩リード！？という印象を与えてくれる内容でした。これは、この会期待できる！と、個人的に盛り上がり各社の最先端テクノロジーを拝聴致しました。その後のセッション1は Dual-energy という事で、実際の臨床応用に関しての今を知る事が出来ました。広島大学の檜垣先生の発表では、キヤノンの DECT



から得られた画像も提示されており、とても期待の持てるご発表でした。

セッション2は「新技術を用いた脈管評価」という事で、4DCTやシーケンシャルサブトラクション、立位CTの発表と、どれもキヤノンさんの装置を用いた内容でした。また、東北大学病院の茅野くんからも新たなbolus tracking法の開発につながる発表もありました。

最後のセッションは「深層学習画像再構成」で、FIRSTやAiCEといった、こちらも、ほぼキヤノンのCTによる発表という状況でした。

翌日からは、SAMIに参加し2日半ドップリと放射線画像の世界に浸かってきた訳ですが、色々と得るものがありました。藤田医科大学の井田さんも参加されておりましたが、「各施設の技師長クラスが、この研究会に参加して、放射線科医師が今どのような事を考えながら仕事や研究をしているのかを知るべきではないか？」と話されており、とても共感した次第です。

SAMIの参加ついでに最先端CTの話も聞ける大変お得な3日間です。参加を検討してみたいかでしょうか？